

学力向上の実践校リスト

岡山市立 香和中学校

キーワード

2 基礎的な知識・技能の習得

標 題

2 学習内容の確実な定着を図る指導方法の工夫

①学校の概要（平成25年5月1日現在）

・児童生徒数 488 名 ・学級数 15 学級 ・教職員数 29 名

②取組を始めた経緯

福武教育文化振興財団の「学力・人間力育成推進事業」の指定を受けたことによる。

③取組の実施体制

中学校区で保幼小中の連携で組織を構成

④学力向上に向けた具体的な取組

- 1 生活について
 - 宿題等の提出を徹底する。
 - 学校独自の家庭学習の手引き等を利用して、家庭に協力を呼びかける。
 - 「ありがとう」と感謝の気持ちをもつ生徒の育成。（先生に何でも相談できる人間関係づくり）
- 2 学習について
 - 中学校区の全校で指導方法をそろえているため、不要な段差がなくなり、中学入学後もスムーズに授業に取り組むことができる。（グループになったの学習、まとめや報告などの表現等）
 - タ学（帰りの会の前に手作りの小テスト）の実施。
- 3 その他の取組について
 - 岡山型一貫教育の取組として中学校区の学校の授業を参観し合う。
- 4 ポイント
 - 指導方法を一貫することで、子どもたちが安心して学習に取り組むことができる。

⑤取組の成果と課題

○成果

・国・数だけでなく、全教科で統一した学習スタイルを教員が意識した結果、生徒の課題解決に向けての勉強法が、暗記重視や練習量重視の傾向から、意味理解重視の方向に移行してきた。

○課題

・ペア学習やグループ学習の本質を理解し、さらに深化させていくことの必要性を感じている。

⑥取組の継続・発展の要因

○取り組みの成果が顕著に表れたことによって、小中連携した学習スタイルが有効であったと認識できたこと。

○中学校区での管理職や研究主任のリーダーシップを発揮できたこと。

○研究指定期間が過ぎても小中で出前授業を行い、生徒指導の連絡だけではなく授業によるつながりを継続できているため。

⑦管理職・中核教員等のアクション

○中学校区での連携を強化するために、管理職・研究主任の連絡会を定期的に持ち、共通理解を図っていく。

○研究主任を中心に話し合ったことを、各校で積極的に実践をすること。

⑧資料・写真等



【3年間の平日・休日の平均学習時間】

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
平日の平均学習時間(分)	72.6(71.5)	71.9(73.7)	90.7(87.8)
休日の平均学習時間(分)	62.1(58.6)	77.4(66.3)	99.3(80.9)

()は全国平均